

カラブリア州で体験する！



コリリアーノ・カラプロの城 Photo by Vincenzo Stranieri



スクイッターチェにあるノルマン城 ©Elisabetta Cirianni

異なる、ここだけの**独特な現象**です。

北から南まで**地中海の文化**と人々が出会った交差点である**カラブリア州**は、その最も美しい城のイメージを通して、**防御的で堅固な過去**の証拠を観ることができます。

カラブリア州の城のほとんどが、古い起源を持ち、ビザンチンの城跡や海賊に対する監視所に建てられました。今日でも人々を魅了するこれらの建造物は、**ノルマン家の王**、その後、**アラゴン家**、**シュヴァーベン家**、**アンジュー家**、そして地元の貴族の封建領主の大家族に支配されました。**カラブリア州にある城**を訪れることは、中世の南イタリアと地中海全般における**城郭建設**の都市現象の基本的な段階をたどることを意味します。他の州とは

この魅力的な歴史の重要な段階は、例えば、**カラブリア海岸**への[アラブ人とサラセン人の海賊の侵入](#)（9世紀～16世紀）により、海洋民族は丘陵への撤退を余儀なくされました。今日、そこには主要な**カラブリア州の中世の村**（その多くは国内に点在するイタリアの最も美しい村の一部）があります。



ヴィボ・ヴァレンティアのノルマン・シュヴァーベン城

©Regione Calabria

その後 16 世紀には、**カラブリア州の城**の防御機能を強化するために国王**カール 5 世**が介入します。

海岸監視塔の洗練されたシステム（“騎兵”、つまり騎士を装備、または夜間の火や昼間の信号点灯を設計）を配置したため、24 時間以内にナポリまで警報を伝えることができたのです。



ロゼート・カーポ・スプリコのフェデリコ城 ©Regione Calabria

カラブリア州の城の歴史におけるもう一つの決定的な変化は、**シュヴァーベン大公フリードリヒ（フェデリコ）2 世**が**カラブリア州**と残りの南部に一連の**記念碑的な城**（いわゆる「**フェデリコの城**」）の建設を始めたフェデリコの時代です。その用途は、夏の別荘や狩猟の住居といった機能的側面か、あるいは聖杯を守る寺院・入信の場所という神秘的側面かで解釈が分かります。



コゼンツァの城 ©Regione Calabria

カラブリア州の城を巡る旅を通して、丘を守る**強固な城壁と跳ね橋**に囲まれた**内陸の要塞**（サンタニチェト城、コゼンツァのノルマン・シュヴァーベン城、ヴィボ・ヴァレンティアのノルマン・シュヴァーベン城など）、そして海岸線を守るための防波堤に建築された、まさに**海上要塞**（ロゼート・カーポ・スプリコにあるフェデリコの城、ベルヴェデーレ・マリッティモのアラゴン城、シッラのルッフォ城など）を知る刺激的な体験ができるでしょう。

歴史、伝説、謎に富んだ**カラブリア州の城**は当時の歴史だけでなく、その空間自体が**博物館、展覧会、再現イベント**、そして芸術、歴史、観光を組み合わせた一連のイベントの会場として一年中使

用されています。そのため、海辺の見どころや一般的な観光地だけでなく、カラブリア州のさらに知られざる一面を知りたい人にはお勧めです。

カラブリア州の城は、ガイド付きツアー、または風景の美しさとその場所の最も古代のアイデンティティを組み合わせた多くの[カラブリアの道](#)や歴史自然主義のトレッキングルートを通して、自分だけの目線で城を発見したい旅行者を迎えます。

おすすめ体験とスポット TOP Experience

写真：©Regione Calabria



1. コリリアーノ公爵城（コゼンツァ県）

コゼンツァ県で見逃せないカラブリア州の城の一つに、[コリリアーノのドゥカーレ城](#)があります。1073年にロベルト・イル・グイスカルドの命により建てられ、息をのむような絶景を望める展望台へと続くフレスコ画に囲まれた螺旋階段で有名です。



2. サンタ・セヴェリーナ城（クロトーネ県）

クロトーネ県（イタリアで最も美しい村の一つ）にある同名の村のシンボルである[サンタ・セヴェリーナ城](#)には、**サンタ・セヴェリーナ考古学博物館**があり、発掘調査で発見された出土品を鑑賞することができます。そして5月から6月にかけて歴史を再現した**中世のお祭り**が開催されます。

3. レ・カステッラ（クロトーネ県）

カラブリア州の象徴的なイメージの中で、**水面にある唯一のアラゴン要塞**、クロトーネ県のカーポ・リッツート島の**海洋保護区**にある[レ・カステッラ](#)複合施設は伝説として伝わる物語を今に伝えます。例えば、トルコ人に誘拐され、後に大海賊**オッキアリ**となる子供の伝説もあります。



4. ムラット城（ヴィボ・ヴァレンティア県）

ヴィボ・ヴァレンティア県にある[ピッツォ・カラブロのアラゴン城](#)（15世紀）は、ナポリ王ジョアキーノ・ムラットがここに幽閉され、銃殺された（1815年10月13日）ことから”ムラット城”として知られていて、その遺骸は今でもサン・ジョルジョ教会に保存されています。ムラッティアーノ博物館のあるこの城では4年に一度、この事件の歴史的再現が行われます。



5. レッジョ・カラブリアのアラゴン城

中世レッジョ・カラブリアの重要な証人である[レッジョ・カラブリアのアラゴン城](#)（9～11世紀）は、歴史的な中心地の頂上に立ち、城の内部では企画展や文化的イベントが開催されています。度重なる地震を乗り越え、メッシーナ海峡を見渡す最も美しい展望台のひとつとなっています。



ダウンロード

[カラブリア州への旅ダイアリー 芸術と文化](#)

詳細情報

[カラブリア州観光サイト](#)

[カラブリア州観光サイト内資料ダウンロード](#)